

赤城山大沼(所要時間 1 時間 30 分)

【氷の穴あけとワカサギ釣り】



(内容)

- ・「地球温暖化が大沼に与える影響」、
「つりの仕方」について話を聞く
- ・釣り宿の人に協力を得て、穴あけ(ドリルで直径 20 cm程度の穴をあけ、柄杓ですくう)。
- ・つりざおにえさをつけ、ワカサギをつる。

(ねらい)

ワカサギ釣りを通して、水の性質と生き物の関係について理解できるようにする。

指導体制：指導者 1 名、指導助手 5 名 に対し **対象人数**：25～30 人

準備：(釣り宿と事前の打ち合わせの上)釣り具、えさ、ドリル

留意点：状況判断により、プログラムの中止タイミングと代替のプログラムの用意
釣り宿の担当者と事前の打ち合わせ

プログラムの関連性**小学校学習指導要領**

理科 内容 B 生命・地球

4 年 (2) 季節と生物 身近な動物や植物を探したり育てたりして、季節ごとの動物の活動や植物の成長を調べ、それらの活動や成長と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

イ 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

5 年 (2) 動物の誕生 魚を育てたり人の発生についての資料を活用したりして、卵の変化の様子や水中の小さな生物を調べ、動物の発生や成長についての考えをもつことができるようにする。

ア 魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中の様子に変化してかえること。

イ 魚は、水中の小さな生物を食べ物にして生きていること。

ウ 人は、母体内で成長して生まれること。